

東日本大震災への対応について

2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。
川崎重工グループの6月末日時点までの対応状況と、当社グループが今後果たしていくべき役割について報告します。

当社グループの被災状況

当社グループでは、主要拠点が西日本に集中していることから、東北地方の営業・サービス拠点の被災を除けば、工場等の生産設備への大きな被害はありませんでした。

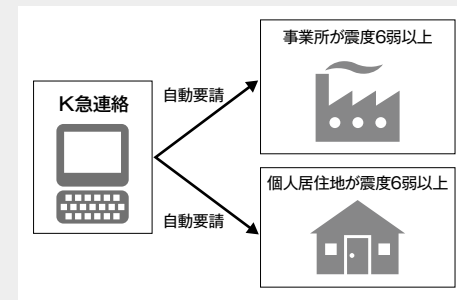
事業につきましては、一部の売上が2011年度にずれ込んだほか、一部の製品で部品調達の流れから操業がとまった期間も若干ありましたが、比較的早期に解消しており、2010年度の損益への影響は限定的でした。

事業継続計画(BCP)等の見直し

自社グループの生産設備に大きな被害はありませんでしたが、これまで想定していなかった広範囲かつ深刻な被災の状況を踏まえ、BCPの見直しを行いました。BCP見直しにあたっては、当社グループで勤務する従業員の安全確保、生活支援はもとより、顧客や社会への対応に特に焦点をあてて検討しました。すなわち、製品の供給責任を果たし、社会インフラを支える企業として、その役割を活かし復旧・復興へ貢献することを重視しています。

安否確認システム

東日本大震災発生から7分後の14時53分、当社グループが導入している緊急連絡システム(K急連絡)が自動的に稼働し、震度6弱以上を記録した県に居住または勤務している従業員に対し安否状況を登録するよう要請が出されました。



ITシステムについて

当社グループでは、東日本大震災の発生前からITシステムの災害対策を講じていました。データセンターは、メインセンターと遠隔センターの2センターで運営しており、2つのデータセンターは、被災が広範囲に及ぶ災害を想定して500km以上離して設置しています。両センターにて、お客様や事業に関わる重要情報を扱うシステムのバックアップデータの保管と、電子メー

ルやホームページなど、災害発生時からすぐにお客様、お取引先、自社グループとの連絡で必要となるコミュニケーション・システムを運営しています。今後もさまざまな状況を想定し、対策の精度を向上させていきます。

夏場の電力不足に向けての対策

●関東地区の生産拠点での対応

アーステクニカ(株)の八千代事業所(千葉県八千代市)では、電気炉の運転調整、サマータイムの導入などを行います。

日本飛行機(株)(神奈川県横浜市・大和市)では、昼夜勤シフトなど、柔軟な勤務体制で対応します。



アーステクニカ(株)



日本飛行機(株)

●東京本社の特別電力休暇

7月の平日を4日間休業とし、電力需要の減る10~12月の休日を出勤日としました。神戸本社も、東京本社との連携重視の観点から同様に実施しました。当社では毎年7月、全工場で電力休暇を実施してきましたが、今年は本社にも拡大したことになります。

●関西地区での取り組み

関西電力管内での節電要請を受け、当社グループの主要生産拠点では、大規模電力消費設備の稼働をピーク時間帯以外にシフトしたり、自家発電設備を稼働するなどの対策を講じました。

●使用電力削減措置

照明の間引き、不要照明消灯の徹底、エレベーターの使用自粛などの通常の節電策のほか、省力型電灯への切り替えや、旧式事務機器の前倒し更新、自販機の半減などの追加措置を取りました。

被災地区への支援

当社グループは自らが17年前に阪神・淡路大震災で被災した経験を踏まえ、義援金に加えて被災地での救援および復旧にお役に立てる製品の提供を行いました。(35ページ参照)

▶ 当社グループが今後果たしていくべき役割

被災地の復旧支援

現在、主として被災地自治体によるがれきの撤去・処理作業が進んでいます。当社では、災害発生後すぐに二輪車とホイールローダを無償提供したほか、被災された自治体からの要請で仮設のがれき焼却設備を賃貸借方式で設置することを決めました。



ホイールローダ

ガスタービン、ガスエンジン発電装置の対応強化

電力逼迫による、自家発電設備や停電等対応の非常用電源の需要急増に対応するため、ガスタービン、ガスエンジン発電設備等の生産体制を強化しました。



グリーンガスタービン



グリーンガスエンジン

また、事業部門ごとにお客様の手元で被災した当社製品の修理・復旧に注力したほか、お客様やお取引先の復旧作業の応援や、支援物資のお届けなどの活動もあわせて行いました。

分散型発電 / 再生可能エネルギー

当社グループは、早くから分散型発電や再生可能エネルギー、高効率エネルギーの研究開発を行ってきました。今般の大震災を契機に、これらのエネルギーに対する社会の期待は一層高まっています。この期待に応えてエネルギー関連製品の育成・強化を加速します。



大容量で高速充電・放電が可能な高性能ニッケル水素電池「ギガセル®」



小川や農業用水路など小さな水の流いで発電できる小水力発電装置



日本飛行機(株)が開発したどの方向からの風でも発電できる縦軸型風力発電装置



吸収式冷温水器に太陽熱を組み合わせ、工場や大型店舗の冷暖房を高効率に行うソーラークーリングシステム

